



Mac-House

第32期報告書 2021年3月1日~2022年2月28日

株式会社 **マックハウス**

STANDARD
TOKYO
証券コード: 7603

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第32期(2021年3月から2022年2月まで)における事業のご報告をする
にあたり、ご挨拶を申し上げます。



2022年5月
代表取締役社長
坂下 和志

当事業年度(2021年3月1日~2022年2月28日)において、外出行動や消費マインドが回復傾向にあることで商業施設など人出は戻りつつあるものの、当社が属するカジュアルウェア業界におきましては、衣料品に対する消費支出は減少し、多様化するライフスタイルや変化するニーズへの対応が求められております。

かかる状況におきまして、当社は、リアル店舗の客数回復に向けて、社内の販売資格制度を「グッドスタイルアドバイザー」としてアップグレードし、接客技術向上に加え、新たな生活様式や価値観の変化に対応すべく、SNSを活用し、お客様との新たな接点を生み出すサービス改革に取り組みました。

また、店舗DX化の一環として、全店舗にデジタルツールを導入し、動画を活用して本部指示や商品情報の伝達を行うマネジメント改革、動画化した業務マニュアルを用いた人材教育改革を行いました。商品面では、ナショナルブランド「Dickies(ディッキーズ)」のキッズ取り扱い開始など、ファミリーでカジュアルファッションを楽しむライフスタイル提案を行ったほか、機能素材を使用した実需アイテムや話題性の高い人気アニメとのコラボ商品、ご要望の声が多かった大きいサイズの展開など、お客様の幅広いニーズへの対応に取り組んでまいりました。

しかしながら当事業年度におきましても、非常に厳しい業績となり、株主の皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

引き続き、「暮らしに役立つ商品と企業活動を通じて地域社

会に貢献します。」という企業理念のもと、店頭起点の情報を積極的に取り入れ、商品の企画力を高め、独自性を強めていくと同時に、気温差や店舗ロケーションを考慮した品揃えを強化し、販売ピーク時の売上最大化や機会ロス軽減を行い、売上向上を目指してまいります。EC事業においては、仕入体制の強化やEC専用商品の投入、意欲的なデジタルマーケティング推進により、更なる売上拡大を図るとともに、リアル店舗とオンラインストアとの相互送客を活性化させ、売上相乗効果を図ってまいります。店舗開発におきましては、多様な商業施設環境や売場坪数に応じたMDにより、出店機会を拡大し、全社一丸となって早期黒字化に向け邁進してまいります。

なお、配当につきましては、遺憾ではありますが、第2四半期末、期末ともに無配とさせていただくことを公表しております。

引き続き当社は、株主の皆様、従業員、お取引先様等、すべてのステークホルダーのご満足を追求してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解、ご支持を賜りますよう、お願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への当社の対応

当社では、お客様と従業員の安全を最優先に考え、マスクの着用、飛沫感染防止シート及び除菌剤の設置、ソーシャルディスタンスの確保等、感染症拡大防止に努めております。

3密(密閉・密集・密接)を避けるために



混雑時は入場制限をさせて頂く場合がございます。

当店のスタッフ対応



●従業員は勤務中の体温および体調確認 ●ご質問時、トイレでの体温検
●レジカウンターには無菌消毒用アルコール消毒液

決算のポイント

売上高 18,155 百万円

期末店舗数は、前期比11店舗減となりました。新型コロナウイルス変異株による感染症拡大や気温要因により、大幅な客数減となりました。その結果、既存店売上高前年比1.9%増、全店売上高前年比7.9%減となり減収となりました。

経常利益 887 百万円

粗利率は、前年に対して0.9%減となり、売上総利益も大幅な減少となりました。徹底した経費コントロールを図ったものの、887百万円の経常損失となりました。

当期純利益 1,309 百万円

収益性が悪化していると認識した店舗及び共用資産に関して減損損失として283百万円を計上し、1,309百万円の当期純損失となりました。

既存店の推移



出退店状況の推移



トピックス

企業理念

暮らしに役立つ商品と企業活動を通じて地域社会に貢献します。

新商品のご紹介

機能性商品の開発でお客様の暮らしをサポート



サステナブルな取組み

持続可能な社会の実現に向けた取組みの一環として、マックハウス全店舗に衣料品回収ボックスを設置。

再生資源として役立てるリサイクル活動をしています。



新業態 GOOD CREW (グッドクルー)

2022年4月 Debut

コンセプトは「デニムのあるサステナブルな暮らし」
トレンドにもサステナブルな暮らしにもこだわりたいというブランドの世界観を、プロダクトに落としこんだ新業態です。

GOOD
crew

地球のために、ちょっと良いこと。

オーガニックコットンを通して、みんなで“ちょっと”ずつ地球環境に貢献しようという想いから始まった社会貢献プロジェクト『オーガビット』の常設売場があります。



株主優待制度について

当社では、株主の皆様の日頃からのご愛顧とご支援への感謝の気持ちをこめ、当社店舗と公式オンラインストアでご利用可能な株主ご優待券を贈呈しております。また、2022年2月末日以降の基準日より、長期保有(3年以上)の株主優待制度を新設いたしました。

年2回(2月末日/8月末日)贈呈

3年未満保有の株主様			3年以上保有の株主様		
保有株式数	株主ご優待券	通販サイト専用株主ご優待割引券	保有株式数	株主ご優待券	通販サイト専用株主ご優待割引券
100株以上500株未満	1,000円	5,000円	100株以上500株未満	2,000円	5,000円
500株以上1,000株未満	3,000円	5,000円	500株以上1,000株未満	4,000円	5,000円
1,000株以上	5,000円	5,000円	1,000株以上	6,000円	5,000円

(注1) 2022年2月末現在の株主名簿に記載された株主様より適用いたします。

(注2) 「3年以上保有」とは、8月末日及び2月末日の「株主名簿」に同一株主番号で連続7回以上記録又は記載され、且つ同期間の保有株式が継続して100株以上であることを条件といたします。

地区別店舗分布

新規出店は18店舗、退店は29店舗となりました。
結果、当事業年度末店舗数は325店舗となっております。

全 **325** 店舗

(2022年2月28日現在)

業態 **Mac-House** : 234店

(マックハウス グランドアリーナ)

Mac-House : 1店
GRAND ARENA

(マックハウス アーバンストア)

Mac-House : 6店
URBAN STORE

Blueberry : 1店

NAVY : 8店

(マックハウス スーパー ストア)

Mac-House : 10店
SUPER STORE

MAC-HOUSE : 6店
PLAZA

Goalway : 1店

ZooMac : 1店

(マックハウス スーパー ストア フューチャー)

Mac-House : 50店
S.S.F.

OUTLET-J : 7店

中国地区
19 店舗

九州地区
54 店舗

四国地区
13 店舗

北海道地区
18 店舗

中部地区
52 店舗

東北地区
41 店舗

関東地区
73 店舗

近畿地区
55 店舗

第32期 新店一覧

Mac-House (マックハウス)

2021年 3月20日 イオンモールいわき小名浜店
2021年 6月 8日 イオンタウン吉川美南店
2021年 6月19日 イオンモールかほく店
2021年 6月26日 イコアス千城台店
2021年 9月18日 ビバモール美原南インター店
2021年10月 8日 イオンタウンおゆみ野店
2021年10月15日 イオン札幌栄町店
2021年10月16日 ゆめタウンはません店

2021年11月13日 イオンモール高松店
2021年11月17日 セブンパーク天美店
2021年11月19日 イオン米沢店
2021年11月19日 イオンモール新利府北館店
2021年11月20日 ゆめタウン姫路店
2021年11月26日 アリオ加古川店
2021年11月27日 イオンタウン能代店
2021年12月 3日 アビタ長久手店

OUTLET-J (アウトレット-J)

2021年12月18日 丸亀VASALA店

ZooMac (ズーマック)

2021年10月23日 ミーツ国分寺店

財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2022年2月28日	前期 2021年2月28日
資産の部		
流動資産	8,481	9,629
固定資産	3,470	3,854
有形固定資産	876	1,046
無形固定資産	129	113
投資その他の資産	2,464	2,694
資産合計	11,952	13,484
負債の部		
流動負債	4,480	4,583
固定負債	2,553	2,672
負債合計	7,034	7,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	△1,917	△602
自己株式	△88	△113
株主資本合計	4,910	6,201
新株予約権	7	26
純資産合計	4,917	6,228
負債・純資産合計	11,952	13,484

資産の部

流動資産は、主に現金及び預金が955百万円減少、売掛金が156百万円減少したことにより、1,148百万円減少しました。
固定資産は、主に敷金及び保証金が225百万円減少したことにより、383百万円減少しました。

負債の部

流動負債は、主に未払金が138百万円減少したことにより、103百万円減少しました。
固定負債は、主に転貸損失引当金が89百万円減少したことにより、118百万円減少しました。

純資産の部

純資産合計は、主に当期純損失1,309百万円を計上したことにより、1,310百万円減少しました。
総資産に占める自己資本比率は41.1%となり前期末に比べて4.9ポイント減となりました。



(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自 2021年3月 1日 至 2022年2月28日	自 2020年3月 1日 至 2021年2月28日
売上高	18,155	19,717
売上原価	9,456	10,092
売上総利益	8,698	9,624
販売費及び一般管理費	9,777	10,752
営業損失(△)	△1,078	△1,127
営業外収益	454	385
営業外費用	262	359
経常損失(△)	△887	△1,100
特別利益	15	—
特別損失	290	520
税引前当期純損失(△)	△1,162	△1,621
法人税、住民税及び事業税等	147	134
当期純損失(△)	△1,309	△1,756

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

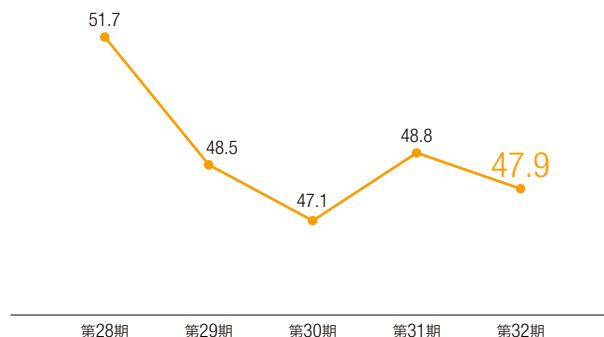
科目	当期	前期
	自 2021年3月 1日 至 2022年2月28日	自 2020年3月 1日 至 2021年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△750	△703
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128	△191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76	△226
現金及び現金同等物の増減額	△955	△1,121
現金及び現金同等物の期首残高	5,039	6,161
現金及び現金同等物の期末残高	4,084	5,039

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上総利益率

原材料の高騰などにより原価率が上昇し、売上総利益率は前期比で0.9ポイント減となりました。

● 売上総利益率(%)



販売費及び一般管理費

販促活動の再開により、販売費は増加したものの、店舗数の減少、一般管理費の抑制により、975百万円減少しました。

■ 販売費及び一般管理費(百万円)



会社概要／株式の状況

会社概要

(2022年2月28日現在)

商号	株式会社マックハウス (英訳名: MAC HOUSE CO.,LTD.)
本社	東京都杉並区梅里一丁目7番7号 新高円寺ツインビル
設立	1990年6月1日
資本金	1,617,850,000円
従業員数	277名
主要な事業内容	当社は衣料品の小売りを主たる目的としたチェーンストアとして全国的に店舗を展開しております。

役員

(2022年5月25日現在)

取締役社長(代表取締役)	坂下和志
取締役会長	舟橋浩司
取締役	佐滝実
取締役	山田敏章
取締役	河西健太郎
取締役	安立邦広
常勤監査役	田村守
監査役	内田善昭
監査役	小林茂

*取締役のうち、山田 敏章、河西 健太郎は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

*監査役のうち、田村 守、内田 善昭、小林 茂は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

配当の状況

第31期(2021年2月期) 第32期(2022年2月期) 第33期(2023年2月期)

第2四半期末	—	—	予想 —
期末	0円	0円	予想 0円
年間	0円	0円	予想 0円

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 (その他必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)

(配当金受領株主確定日) 期末配当金 毎年2月末日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同事務取扱場所 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(同送付先) 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話: 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告の方法により行います。
但し、やむを得ない事由により、電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載する
方法により行います。
公告掲載URL <https://www.mac-house.co.jp>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 マックハウス

〒166-0011 東京都杉並区梅里一丁目7番7号
新高円寺ツインビル 電話: 03-3316-1911(代)